

金型スクールの開講にあたって

日本工業大学では、2008～2010年度の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受けて、高度金型人材育成を目的とした教育カリキュラムの開発を進めてまいりました。

この成果を活用して、本学では、2011(H23)年度より本学に金型教育事業部を設立し3つの教育ユニットを開講いたしました。高度金型技術者へと成長できる金型に関する基盤的～実践的技術力を身につける金型基礎ユニット(U1)及び金型実践ユニット(U2)、高度金型を手掛けるための人・組織・金・技術等のマネジメント力を身につける金型マネジメントユニット(U3)。これらを通して社会人技術者の育成を行っております。

全国からのご参加

当校は2011年度より講座をスタートさせ、昨年2018年度までに延べ150社以上の企業様からご参加いただきました。

右図は2017年から2018年度におけるここ2年間にご参加された事業所数を都道府県別にあらわしたものです。



様々な動機

- ・新入社員に対する金型設計の基礎習得や土台づくりのための研修の場として活用している
- ・生産から設計など社内人材のスムーズな活用を可能としたい
- ・自社で教育体系を作りたいが広がりを持って整理されたカリキュラムや教材がない
- ・やり方は教わるが、その背景にある理論をちゃんと学びたい
- ・自社技術に偏りがあり関連する他の技術知識やノウハウ不足により顧客開拓ができない
- ・会社で自社に特化した技術以外に汎用的な理論や知識を学びたい
- ・ベテラン社員と若手社員のコミュニケーションギャップがあり技術継承が進まない
- ・指導社員が独学で学んだ知識しかいないため金型についてのイロハを身につけたい
- ・外注する金型の試作品の不具合を無くすために、内容を十分伝える事ができるよう成形現場に金型設計の知識を習得させたい